

平成23年 5 月20日

各 位

会 社 名 カルナバイオサイエンス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 吉野 公一郎
(コード番号：4572)
問 合 せ 先 取締役経営管理本部長 相川 法男
(TEL：078-302-7075)

独立行政法人国立がん研究センターとの共同研究契約締結のお知らせ

当社は、平成23年 5 月20日開催の取締役会において、別紙の通り、独立行政法人国立がん研究センターと共同研究契約を締結することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本共同研究契約の締結による当社の連結業績に与える影響は軽微であります。今後の見通しに重大な影響があった場合には、速やかに適時開示によりお知らせいたします。

以上

平成23年 5月20日

関係者 各位

カルナバイオサイエンス株式会社

独立行政法人国立がん研究センターとの共同研究契約締結のお知らせ

当社は、平成23年5月20日付で、独立行政法人国立がん研究センター（以下、「国立がん研究センター」という）と、リン酸化酵素（以下、「キナーゼ」という）を標的とした新規がん治療薬に関する創薬研究を共同で行うことに合意し、共同研究契約（以下、「本共同研究契約」という）を締結しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本共同研究契約の目的

当社と国立がん研究センターは、共同で、国立がん研究センターにおいて今後明らかにされるさまざまながんに関係する新しいキナーゼを標的とした新規がん治療薬に関する創薬研究を行います。

2. 本共同研究契約締結の背景とその内容

すでに多くの臨床研究により、さまざまなキナーゼの異常ががん化に関係していることが明らかにされ、それらのキナーゼを標的とした分子標的薬が開発されています。しかしながら、がん化の機構は非常に複雑であり、同じ悪性腫瘍でも薬剤への反応性は患者間で大きく異なることから、さまざまながんの症例から新しい創薬の標的を同定していくことが重要になってくると考えられています。

国立がん研究センター研究所・創薬臨床研究分野の山田哲司上席副所長らの研究グループでは、さまざまながんの組織検体を用いてプロテオーム及びマイクロアレイ技術を駆使した大規模解析を実施し、新しい創薬ターゲットの探索研究を進めており、すでに有望なターゲットとして数種のキナーゼが同定されています。

本共同研究により、当社は、現在実施している大腸がんの新規治療薬の共同研究に加え、国立がん研究センターにおいて今後明らかにされるさまざまながんに関係する新しいキナーゼを標的として、当社のキナーゼ創薬技術を用いた新しい医薬品候補化合物の創製を目指します。

3. 当社と国立がん研究センターとの関係

当社と国立がん研究センターとは、平成20年6月16日付で特定のキナーゼ（TNIK）を阻害する新規抗がん薬に関する共同研究契約（以下、「前共同研究契約」という）を締結しておりますが、本共同研究契約は、前共同研究契約の内容を発展的に包括した内容となっております。

4. 本契約が当社業績に与える影響について

本契約の締結が連結業績に与える影響については軽微であります。今後の見通しに重大な影響があった場合には、速やかに適時開示によりお知らせいたします。

以 上

(ご参考)

国立がん研究センターの概要

- (1) 名 称： 独立行政法人国立がん研究センター
- (2) 代 表 者： 理事長 嘉山孝正
- (3) 所 在 地： 東京都中央区築地五丁目1番1号
- (4) 設立年月日： 昭和37年2月1日

カルナバイオサイエンスの概要

- (1) 名 称： カルナバイオサイエンス株式会社
- (2) 代 表 者： 代表取締役社長 吉野公一郎
- (3) 所 在 地： 神戸市中央区港島南町1丁目5番5号
- (4) 設立年月日： 平成15年4月10日
- (5) 事 業 内 容： キナーゼ阻害薬の創薬基盤技術を用いた製品・サービスの販売（創薬支援事業）および医薬品の研究・開発（創薬事業）

【本件に関する問い合わせ先】

カルナバイオサイエンス株式会社
経営企画部 IR担当
TEL：078-302-7075